

平成25年度  
大原自治振興会通常総会

活力のあるまちづくり

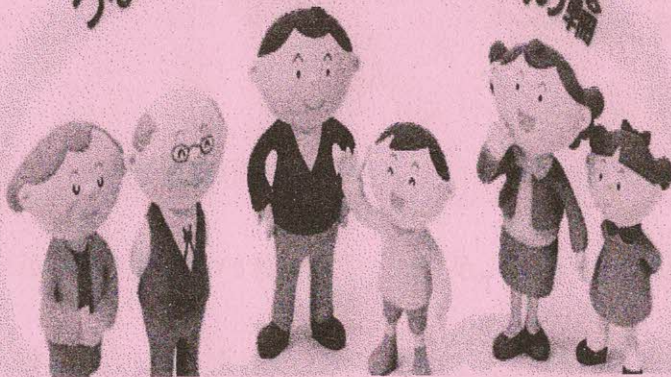
伝統文化の再発見

自然環境の保全

つなげよう。地域の輪・異世代の輪

いきいき高齢者支援

輝く目の子どもの育成



# 甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活  
気あふれる甲賀市」を目指して、この憲章を定  
めます。

あふれる愛(あい)に	あなたも仲間(なかま)
いろどる山河(さんが)と	生(い)きいき文化(ぶんか)
こぼれる笑顔(えがお)に	応(こた)える安心(あんしん)
うみだす活力(かつりよく)	受(う)けつぐ伝統(でんとう)
かがやく未来(みらい)に	鹿深(かふか)の夢(ゆめ)を

## 市民憲章の唱和方法

司会:甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」を目指して、この  
憲章を定めます。

司会:あ

全員:あふれる愛(あい)に あなたも仲間(なかま)

司会:い

全員:いろどる山河(さんが)と 生(い)きいき文化(ぶんか)

司会:こ

全員:こぼれる笑顔(えがお)に 応(こた)える安心(あんしん)

司会:う

全員:うみだす活力(かつりよく) 受(う)けつぐ伝統(でんとう)

司会:か

全員:かがやく未来(みらい)に 鹿深(かふか)の夢(ゆめ)を

# 総 会 次 第

日 時:平成25年 6月1日(土)

午後7時30分から

場 所:かふか生涯学習館 2階研修室

1. 開 会

2. 市民憲章の唱和

3. あいさつ

4. 来賓祝辞

5. 資格審査報告

6. 議長の選出

7. 書記、会議録署名人の指名

8. 議事

- 1) 議案第1号 平成24年度大原自治振興会事業報告
- 2) 議案第2号 平成24年度大原自治振興会収支決算報告
- 3) 議案第3号 平成25年度大原自治振興会事業計画(案)
- 4) 議案第4号 平成25年度大原自治振興会収支予算(案)

9. 閉 会

# 大原自治振興会規約

## (名称)

第1条 この会の名称は、大原自治振興会（以下「本会」という。）という。

## (事務所)

第2条 本会の事務所は、甲賀市甲賀大原地域市民センターに置く。

## (目的)

第3条 本会は、大原学区（以下「学区」という。）の住民みずからが学区の将来像を考え、その実現に向けて行動することによって住みよいまちづくりと住民自治の振興に寄与することを目的とする。

## (事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学区の未来づくりのための計画策定及び見直しに関すること。
- (2) 人権の尊重、福祉の推進及び健康増進事業に関すること。
- (3) 青少年の健全育成に関すること。
- (4) 安全安心の住みよいまちづくりに関すること。
- (5) 環境の保全に関すること。
- (6) 学区基本方針の具体化に関すること。
- (7) 広報に関すること。
- (8) その他、目的を達成するために必要なこと。

## (組織)

第5条 本会の会員は、学区住民及び本会の目的に賛同する各種団体とする。

2 本会は、年齢、性別や社会的地位等の差別を排除し、会員誰もが平等に参加できるものとする。

3 本会は、会員の参加を促し、合議制による民主的な組織運営を行うものとする。

4 会員は、本会の実施する事業に積極的に参加するものとする。

## (役員)

第6条 本会に次の役員をおく。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 区長 10名
- (4) 自治振興委員 20名以内
- (5) 専門部会長 4名
- (6) 監事 2名
- (7) 会計責任者 1名

(8) 事務局長 1名

(役員を選出)

第7条 役員を選出は、それぞれ次のとおりとする。

(1) 区長は、当該年度の学区内自治区区長をもって充てる。

(2) 自治振興委員は、学区内各自治区で選出された男女各1名をもって充てる。

(3) 専門部会長は、専門部から選出された者をもって充てる。

(4) 会長、副会長及び監事は、区長、自治振興委員及び専門部会長が会員の中から選出し、総会で承認を受ける。

(5) 会計責任者及び事務局長は、会長が会員の中から委嘱し、総会で報告する。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

(1) 会長は、本会を代表し会務を統括する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

(3) 区長、自治振興委員及び専門部会長は、本会及び専門部会の事業を統括する。

(4) 自治振興委員は、まちづくり計画の精査及び課題の検討、素案の作成を行う。

(5) 監事は、会計、資産の状況及び事業の執行状況を監査し、総会に報告する。

(6) 会計責任者は、本会の会計の事務処理にあたる。

(7) 事務局長は、本会の事務運営及び事務処理にあたる。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、区長を除き2年とし、再任は妨げない。

2 役員の中で欠員が生じたときは、補欠役員を補充を行うことができる。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

(選出代議員制)

第10条 各自治区に代議員を置く。代議員の数は、各自治区において自治区会員より選出された5名をもって構成する。

2 役員は、代議員になることができない。

3 代議員の仕事は、2年とし、再任は妨げない。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会、役員会、専門部会及び広報委員会とする。

(総会)

第12条 総会は、選出代議員制をもって構成する最高の議決機関であって、この規約に定める事項のほか、この会の目的を達成するための必要な重要事項を決議する。

- 2 定期総会は、会長の召集により毎年1回以上開催する。
- 3 臨時総会は、会長が必要と認めるとき、又は代議員の2分の1以上の要求があったときは、会長の召集により開催する。
- 4 総会は、委任状を認め、代議員の2分の1以上の出席により成立し、その議事は出席者の過半数で議決する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
- 5 総会には次の役員を置く。
  - (1) 議長 1名
  - (2) 書記 1名
  - (3) 議事録署名人 2名
- 6 議長は、出席代議員の中から会長が指名し、出席代議員の承認により選出する。書記及び議事録署名人は、議長が出席代議員の中から指名する。
- 7 議長は、総会の議事進行を行う。
- 8 書記は、総会の議事について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名の署名押印を得なければならない。なお、議事録は事務局が保管管理する。
- 9 総会は、次の事項を審議する。
  - (1) まちづくり計画の策定(案)や見直し(案)の承認
  - (2) 事業計画及び予算案の承認
  - (3) 事業報告及び決算の承認
  - (4) 規約の改正
  - (5) 総会で提案された事項  
(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、区長、自治振興委員、専門部会長、会計責任者及び事務局長をもって構成し、会長が召集し、次の事項を審議し、各専門部会と共に事業を実行する。また、監事は、必要に応じ役員会に出席して意見を述べることができる。

- (1) 本会運営の基本事項
  - (2) まちづくり計画の策定及び見直し。
  - (3) 総会に付議する事項
  - (4) 緊急を要する重要事項
  - (5) 予算の軽微な変更
  - (6) その他の必要な事項
- 2 役員会の議長は、会長が行い、その議事録の作成は事務局長が行う。なお、議事録は、議長及び作成者が署名押印し、事務局が保管管理する。

(専門部会)

第14条 専門部会は、学区内の自治区及び各種団体から選出された委員をもって構成し、部会員の互選により部会長1名と副部会長1名を選出する。

2 専門部会は、部会長が招集し、事業の企画、調整、運営及び事業の執行を行う。

3 専門部会は、次のとおりとする。

(1) 健康福祉部会

(2) 地域振興部会

(3) 生活環境部会

(4) 教育文化部会

4 専門部会員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(広報委員会)

第15条 広報委員は、会長が会員の中から4名を委嘱し、委員の互選により、委員長1名と副委員長1名を選出する。

2 広報委員会は、会員に広く周知するため広報誌等を発行する。

3 広報委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(会計)

第16条 本会の経費は、交付金、補助金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

(会計年度)

第17条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(情報等の公開広報)

第18条 本会の会議等は、公開を原則とし、事業計画、事業報告及び予算決算等について会員に広く周知するものとする。

(その他)

第19条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

付 則

この規約は、平成23年 6月25日より施行する。

付 則

この規約は、平成24年12月15日より施行する。

## 平成24年度大原自治振興会事業報告

部会名	事業名	事業概要
【健康福祉部会】	高齢者等の支援事業	①サロンスタッフの交流・研修事業 6月27日実施 参加者 50人 内容 転倒予防、機能回復、体力維持 ②サロン備品購入(囲碁ボール) ③認知症サポーター研修会 3月1日実施 参加者 30人
	健康づくり事業 【健康教室 全3回】	①健康寿命を延ばす・甲賀病院新築移転の状況説明 講師：甲賀病院内科部長、甲賀病院事務部長 7月7日実施 参加者 68人 ②日々の健康を保つための生活習慣 講師：甲賀健康医療専門学校副校長、付属接骨院院長 10月6日実施 参加者 41人 ③健康を維持するための食と生活習慣 講師：三重大学名誉教授、NPO三重スローライフ理事長 2月17日実施 参加者 51人
【地域振興部会】	町民体育大会交流事業	○大原・油日・佐山の3つの自治振興会で2つのプログラムを担当(内容：バレット乗り、地域〇×クイズ) ○賞品に地域の特産品(米粉パン等)を贈る。9月2日実施
	甲賀・大原PR事業	○大原の史跡・観光案内チラシ作成 5,000枚 ○大原の歴史・自然・文化のｸﾘｱﾌｧｲﾙ作成 2,000枚
	地域の歴史・文化の再発見事業と伝承事業	○大原の歴史再発見ミステリーツアー 11月3日実施 滝川城址・櫛野寺・長福寺・大鳥神社等 参加者 46人
	文化財整備事業	○各区の史跡・文化財案内看板の整備(新設) 櫛野大原城址、諏訪神社、常光寺、篠山氏墓所、福生寺
	ふるさと明かり事業	○大原祇園(宵宮)の灯籠設置 (22年度区長会との共催)
【生活環境部会】	防犯灯維持管理向上事業	○防犯灯LED交換 53基
	生活・通学道路美化事業	○小学生通学道路安全点検及び要望書提出 6月17日実施 ○不法投棄箇所の見回り " ○犬のフン・家庭ごみの野焼き防止キャンペーン 啓発用チラシを2月に全戸配布 ○花いっぱい事業 葉ボタン配布 11月25日 パンジー・ビオラ配布 3月3日
	次年度に向けての取組み	○災害図上訓練(DIG)の実習 11月23日の部会で実施
	各区教育文化関係研修	○地域と学校が協働で子どもを育てる 10月31日実施 コミュニティースクール推進員の講演会、「かむら子ども育ちの会」の事例発表
【教育文化部会】	人権同和教育推進のための研修	○地域の課題についてのワークショップ 「あすばる甲賀」講師の講演会とグループに分かれてのワークショップ
	子ども会の指導者研修	○子ども会活動の参考となる講演と交流会 「山内エコクラブ」の代表を講師に活動事例紹介と交流会を実施。
	大原歴史ハイキング	○大原の歴史再発見ミステリーツアー(地域振興部会と共催)
	大原小学校自然環境学習	○大原小学校、大原財産区、大原貯水池土地改良区と協力して卒業記念植樹等に協力。3月5日実施
	先進地研修事業	○先進地視察研修(防災を目的とした研修) 研修先：岐阜県恵那市 11月16日実施
【事務局】	人権研修事業	○人権講演会 2月16日 大原・油日・佐山学区の3つの自治振興会が共催 目的：人権について楽しく学ぶ 参加者 80人
	広報紙	○広報委員会による広報紙の発行 7月、10月、1月、3月 年4回発行



第2号議案

平成24年度 大原自治振興会収支決算書

単位:円

収入の部

款	項	目	節	予算現額	流用の増減	計(A)	決算額(B)	比較(B-A)	備考
市交付金				8,220,000	0	8,220,000	8,220,000	0	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,531,000	0	1,531,000	1,531,000	0	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,492,000	0	2,492,000	2,492,000	0	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	957,000	0	957,000	957,000	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,240,000	0	3,240,000	3,240,000	0	
市補助金	補助金	補助金	消火栓器具緊急対策整備補助金	89,000	0	89,000	89,250	250	消火栓器具緊急対策
繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	647,000	0	647,000	647,940	940	前年度繰越金
諸収入				2,000	0	2,000	18,565	16,565	
	預金利子	預金利子	預金利子	1,000	0	1,000	365	△ 635	預金利子
	雑入	雑入	雑入	1,000	0	1,000	18,200	17,200	参加者負担
歳入合計				8,958,000	0	8,958,000	8,975,755	17,755	

支出の部

款	項	目	節	予算現額	流用の増減	計(A)	決算額(B)	比較(A-B)	備考
総務費	一般管理費	一般管理費		1,695,000	0	1,695,000	1,322,393	372,607	
			賃金	461,000	0	461,000	237,849	223,151	事務局臨時職員賃金
			需用費	210,000	△ 7,000	203,000	65,784	137,216	消耗品費
			役務費	25,000	0	25,000	14,030	10,970	郵便切手、振込手数料
			使用料及び賃借料	81,000	0	81,000	80,640	360	コピー機リース料
			備品購入費	180,000	7,000	187,000	186,900	100	スタッフ用ベスト
			補助金	90,000	0	90,000	89,250	750	消火栓器具緊急対策整備補助金
			積立金	648,000	0	648,000	647,940	60	積立金
事業費				3,240,000	0	3,240,000	3,198,235	41,765	
	一般管理費	一般管理費		380,000	41,000	421,000	411,382	9,618	
			需用費	320,000	7,000	327,000	326,817	183	広報紙印刷、トナーカートリッジ
			役務費	50,000	35,000	85,000	84,565	435	郵便切手、ハガキ、振込手数料
			使用料及び賃借料	10,000	△ 1,000	9,000	0	9,000	
	研修費			200,000	15,000	215,000	206,905	8,095	
		自治振興会研修費		150,000	15,000	165,000	158,325	6,675	
			報償費	5,000	0	5,000	4,700	300	研修先謝礼他
			役務費	11,000	0	11,000	10,090	910	郵便切手、ハガキ
			使用料及び賃借料	134,000	15,000	149,000	143,535	5,465	バス借上、保険代、通行料
		人権研修費		50,000	0	50,000	48,580	1,420	
			報償費	30,000	0	30,000	28,580	1,420	講師謝金等
			役務費	20,000	0	20,000	20,000	0	郵便切手、ハガキ
			使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
	部会活動事業費			2,660,000	△ 56,000	2,604,000	2,579,948	24,052	
		健康福祉部会活動費		300,000	△ 81,000	219,000	213,431	5,569	健康教室講師謝金、サロン備品代他
		地域振興部会活動費		1,020,000	17,000	1,037,000	1,036,237	763	史跡・文化財案内板(5基)、ミステリーツアー経費、史跡等観光案内チラシ、クリアファイル他
		生活環境部会活動費		1,170,000	0	1,170,000	1,152,780	17,220	LED防犯灯、花の苗、環境美化チラシ等
		教育文化部会活動費		170,000	8,000	178,000	177,500	500	講師謝金、ミステリーツアー経費、大原小学校自然環境学習経費
振興費	区活動振興交付金			1,531,000	0	1,531,000	1,531,000	0	
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,061,000	0	1,061,000	1,061,000	0	各区へ
		環境整備交付金	負担金及び交付金	470,000	0	470,000	470,000	0	各区へ
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,492,000	0	2,492,000	2,492,000	0	各区へ
歳出合計				8,958,000	0	8,958,000	8,543,628	414,372	

歳入合計8,975,755円 - 歳出合計8,543,628円 = 差引残高432,127円 [残高内訳] 翌年度繰越390,362円 市返戻金41,765円

別途積立金 647,940円(事務加算金)

# 監 査 報 告 書

## 大原自治振興会歳入歳出決算

歳入合計	8,975,755	円
歳出合計	8,543,628	円
差引残高	432,127	円
残高内訳		
翌年度繰越金	390,362	円
市返戻金	41,765	円

別途積立金 647,940 円 (事務加算金)


平成25年3月31日大原自治振興会事務室で、平成24年度の歳入歳出決算及び事業執行状況について、関係諸帳簿と証拠書類とを対照し、詳細に監査した結果、適正且つ正確に処理されていることを認めました。

平成25年 3月31日

監査委員

宮林 康自 

監査委員

一志 守 

## 平成25年度大原自治振興会事業計画(案)

部会名	事業名	事業概要
【健康福祉部会】	高齢者等の支援事業	①ふれあいいきいきサロンの備品充足 ②サロンスタッフ交流研修会 ③認知症サポーター研修会
	健康づくり事業	①ウォーキング ②健康教室(地域に適応した内容の講演や講習)
	遊具の定期点検	遊園地の遊具等の安全点検
	救急救命講習	救急救命講習会とAED器具の取扱い及び実践訓練
【地域振興部会】	町民体育大会交流事業	甲賀町3自治振興会と体育協会共催事業
	地域の歴史・文化の再発見事業と伝承事業	大原地域の史跡や文化財を調査し「散策ツアー」を企画
	文化財整備事業	各区の史跡・文化財をより分かり易くするための案内板の修繕や新規作成
	竹あかり事業	大原祇園(宵宮)を盛り上げる為、参道に竹灯籠を設置
	住民憩いの場整備事業	桜見物、魚釣り等住民憩いの場としての環境美化活動
	ホテル観察会	①子ども対象の源氏ホテルの鑑賞会 ②各区のホテル観察場所を調査し、情報発信
	甲賀・大原PR事業	他地域との交流事業によるPR等
	桜の木の管理	桜てんぐ巣病の防除マニュアル作成し管理の呼びかけ
【生活環境部会】	防犯灯維持管理向上事業	防犯灯LED交換
	花いっぱい事業	①甲賀駅、各区、市民センター等に花の苗やプランターを配布 ②コスモス畑イベントへの協賛
	防災事業	①災害図上訓練 ②防災講演会 ③各地域の避難場所マップの作成
	生活道路の安全確認事業	バリアフリーの状況確認
【教育文化部会】	大原小学校自然環境学習	①大原小学校卒業記念植樹に協賛 ②子ども対象シイタケ菌植菌講習
	子ども会指導者研修	講演会・ワークショップ等
	子ども会野外活動	①火起こし・飯ごう炊飯の学習 ②甲賀の薬草について学習
	おらが町の再発見	各区の埋もれた文化遺産の調査及び冊子の発行
	人権のまなび	①講演、ビデオ、ワークショップ等 ②子ども達をいじめ虐待から守るための研修
	甲賀の文化・薬のまちPR	①甲賀の薬草の調査 ②薬草の効能調査等
【自治振興委員会】	まちづくり計画	大原の将来を考えたまちづくり計画の見直し ワークショップ・講演・研修等
【広報委員会】	広 報	①広報紙発行(年4~5回) ②各種媒体を駆使した広報活動

## 平成25年度 大原自治振興会収支予算(案)

単位:千円

収入の部				本年度予算額	前年度予算額	比較	説明
款	項	目	節				
市交付金				8,191	8,220	△ 29	
	基礎交付金	基礎交付金	基礎交付金	1,518	1,531	△ 13	
	区活動交付金	区活動交付金	区活動交付金	2,490	2,492	△ 2	
	事務加算金	事務加算金	事務加算金	957	957	0	
	事業加算金	事業加算金	事業加算金	3,226	3,240	△ 14	
市補助金	補助金	補助金	消火栓器具緊急対策整備補助金	0	89	△ 89	
繰入金				647	0	647	平成24年度積立金より
繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	390	647	△ 257	前年度繰越金
諸収入				2	2	0	
	預金利子	積立金利子	預金利子	1	1	0	預金利子
	雑入	雑入	雑入	1	1	0	
歳入合計				9,230	8,958	272	

支出の部				本年度予算額	前年度予算額	比較	説明				
款	項	目	節								
総務費	一般管理費	一般管理費		1,996	1,695	301					
			賃金	432	461	△ 29	事務局員賃金				
			需用費	69	210	△ 141	消耗品費				
			役務費	15	25	△ 10	通信運搬費 郵送代 ほか				
			使用料及び賃借料	107	81	26	コピー機リース料、インターネット・IP電話使用料				
			工事請負費	180	0	180	インターネット接続工事				
			備品購入費	220	180	40	事務用備品等				
			補助金	0	90	△ 90					
			積立金	973	648	325	積立金				
事業費	一般管理費	一般管理費		3,226	3,240	△ 14					
				300	380	△ 80					
			需用費	180	320	△ 140	消耗品費				
			役務費	90	50	40	通信運搬費 郵送代				
			使用料及び賃借料	10	10	0	施設使用料 ほか				
			備品購入費	20	0	20					
			広報費	広報費		245	0	245			
					需用費	240	0	240	印刷製本費(広報印刷代)		
					役務費	5	0	5	通信運搬費 郵送代		
			研修費	自治振興会研修費		220	130	90	役員研修及びまちづくり計画作成		
					報償費	200	10	190	研修講師謝礼		
					役務費	20	20	0	通信運搬費 郵送代		
					使用料及び賃借料	0	100	△ 100			
					人権研修費	人権研修費		0	50	△ 50	
							報償費	0	30	△ 30	
							役務費	0	20	△ 20	
							使用料及び賃借料	0	0	0	
			部会活動事業費	部会活動事業費		2,461	2,680	△ 219			
					健康福祉部会活動費	430	670	△ 240	部会活動費		
					地域振興部会活動費	750	670	80	部会活動費		
生活環境部会活動費	711	670			41	部会活動費					
教育文化部会活動費	570	670			△ 100	部会活動費					
振興費	区活動振興交付金		1,518	1,531	△ 13						
		敬老会事業交付金	負担金及び交付金	1,048	1,061	△ 13					
		環境整備交付金	負担金及び交付金	470	470	0					
区活動費	区活動事業交付金	区活動事業交付金	負担金及び交付金	2,490	2,492	△ 2					
歳出合計				9,230	8,958	272					

## 《25年度大原自治振興会委員名簿》

### 【 事務局 】

会 長	田中 勇			
副会長	岩崎 延幸	中島 教芳		
会計責任者	中村 典也			
監 事	森口 衛	北相模登一		
事務局長	廣岡 道生			
事務員	奥山 清美			
広報委員	宮林 康自	立岡 栄輝	川村 啓子	大原美智子

### 【 区長・自治振興委員 】

区 名	区 長	自治振興委員	
	氏 名	氏 名	氏 名
櫛 野	雲 佳信	奥村 正	林 幸世
神	井原 富雄	野口 重雄	桑田多枝子
大原上田	中本 欽三	井場 弘司	森田 福美
大久保	西田 武史	西田 学	大原 幸子
大原中	井村 修	辻 富雄	三日月いつ子
拝 坂	廣岡 和男	田中 光雄	増田 俊子
鳥居野	増井 敏男	奥村 宇公	池之内ひろ江
相 模	松岡 富治	出口 義久	黒川世津子
大原市場	増田 定雄	中井 保隆	福永 章代
高 野	大林 克己	外山 武雄	北相模恵子

### 【 専門部会委員 】

区名等	健康福祉部	地域振興部	生活環境部	教育文化部
	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
櫛 野	山本 正和	徳田 員	九里 敏樹	細井喜美子
神	廣岡由起子	村山伊佐夫	桑田 誠	奥島 一浩
大原上田	中島 絹代	山出 洋三	武田 秀子	森田 享
大久保	松村 道子	中島 英和	前川 美一	中島 節子
大原中	岡本 忠久	中田 佳孝	原田 一弘	藤縄 隆
拝 坂	橋本 修	鈴木 一司	廣瀬 茂樹	長峰 透
鳥居野	増井 貞男	中嶋 芳春	中井 朝男	奥村 邦男
相 模	林田 誓治	池田 道吉	中川 満英	中島 洋子
大原市場	古川 秀行	玉置 秀明	増井 裕史	中井 守男
高 野	田畑 文野	松本 真二	高田 孝一	中沼 秀勝
各種団体	(老人クラブ連合会)	(特産加工グループ)	(老人クラブ連合会)	(人権教育推進協議会)
	福永 和伴	山本由美子	中川 すみ子	井村 龍造
	(民生委員児童委員)	(愛林クラブ)	(消防団第1分団)	(大原小学校PTA)
		竹中島真博	辻 直也	田中 重哉
	(日赤奉仕団)	(観光協会)	(消防団第4分団)	(大原にこにこ園保護者会)
	瀬古よし江	高田 信男	中島 重喜	渡辺 俊幸
			(大原小学校PTA)	(文化協会)
			奥村 勝	立岡 裕子
				(青少年育成市民会議)
				森田 宏幸

【 代議員 】

自治会	氏名	自治会	氏名
襟野	島岡 宏	栢坂	杉本 真次
	奥村 浩一		村山 富善
	田中 幸弥		赤木 一美
	島岡 保		中本 均
	山本由美子		雲 哲雄
神	廣岡 耕	鳥居野	雲 勝
	竹中島 朗		奥村源太郎
	清水加代子		上山 喜宣
	井原 明美		中村 敏明
	竹中島千代子		川辺忠一郎
大原上田	谷 則次	相模	林田 敏男
	川村 實		北相模宏二
	林口 義久		玉木 昭
	畑山 智一		杉本 初夫
	平田 征夫		玉木 幸一
大久保	大原 邦明	大原市場	市岡 泰彦
	中島 一憲		深山 繁
	中島みゆき		荒川 元文
	大原 正寛		中井 章夫
	西田 康晴		中島 弘喜
大原中	松岡 清光	高野	奥山 善之
	松本 勝		奥山 明彦
	大原 忠雄		大林 拓司
	西村 朋弥		福井 孝司
	渡辺 清		田畑 裕子

# 自治振興会によるまちづくりがスタート!

## 地域市民センター、市内23箇所で開催!

### —自治振興会によるまちづくり—

市では、新しい地域コミュニティの創造によるまちづくりの取り組みを進めています。この取り組みは市民の皆さんと行政が力を合わせ、みんなが共に助け合って生きる社会を目指すものです。

新しい地域コミュニティ組織『自治振興会』によるまちづくりについては、タウンミーティングや学区説明会、出前講座などの説明の場をもち、市民皆様にご理解いただけるよう努めてきました。

地域では、振興会の設立に向け、設立準備会を立ち上げていただいている学区があったり、また、準備会の立ち上げに向けてご検討いただいているところもあり、一人でも多くの皆さんにご参画いただけることを期待しています。

新しい地域コミュニティの創造によるまちづくりに皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



甲賀市役所  
総合政策部 地域コミュニティ推進室

### 今なぜ 自治振興会なのか

(1) 区運営に時代の波が影響し始めている…

市内には199の区があります。地域活動の担い手として大きな役割を果たしてきた区も人口減少や少子高齢化の進行に伴い、活動組織の見直しが必要な時期にきています。

(2) 時代に順応する新しい地域づくり(自治振興会)

市内には、人口減少と高齢化による社会構造の変化の中で、昔と変わらない強い絆をもつ区もあれば、活動が低迷してきた区もあります。若い世代の人口が増え活気があふれている一方で、ご近所とのつながりが希薄になりがちな区もあります。

それぞれの区がもつ強みを活かし弱みを補い合うことで、解決できなかった問題も広域的な観点で助け合うという工夫によって解決への道が開けてくるのではないのでしょうか。

従来の区はそのまま活かし、子どもの頃から世代を超えた絆が築かれている小学校区という範囲で、もう一步踏み出した新たな地域づくりを始める。これが自治振興会によるまちづくりの取り組みです。

将来を展望しみんなが支えあいながら、持続可能な地域づくりに取り組みましょう。



お互いが支えあい、絆のある地域づくりを!



(3) 市民の皆さんの発想で、より豊かな自治を実現!



今こそ、市民の皆さんの力が発揮できるチャンス! 自分たちの力で快適な生活や地域起こしを始めましょう。基本は、「市民の皆さんの発想を自らが実践する」ということ。

皆さんにしかできないことを地域自らが行動することで、より住み良い暮らしが実現できます。

#### <自治振興会活動でやっていただくこと>

- ① 生活者ならではの発想や課題を出し合おう!
- ② 地域の魅力を発見しよう!
- ③ 生きがいや充実を感じる活動を始めよう!

「自分の思っていたことが実現した!」という喜びは、きっと自信や誇りにつながるでしょう。

地域ごとに歴史や風土があります。従って他の事例を真似しても成功するとは限りません。自治振興会は、まず様々な世代の市民がしっかりと話し合うことが基本です。できることから楽しみをもって進めていきましょう。



## 市が行う支援について

### ☆準備の段階から担当の職員が支援

・地域の事情に合わせ、地域コミュニティの啓発活動をはじめ、振興会設置に向けた事前準備等、担当の職員を配置し支援します。

#### 1 地域市民センターを設置

振興会の設置にあわせ、概ね小学校区の区域内に地域市民センターを設置します。

そこには支援担当職員を配置し、振興会活動を支援します。

#### 自治振興会の活動を市がサポート



この地域市民センターは  
②地域の皆さんが集う場、語り合う身近な憩いの場  
④自治振興会の活動拠点

#### 2 地域市民センターの業務

各センターでは戸籍証明や住基証明、印鑑証明、税証明といった諸証明関係の業務を行い、地域に密着したまちづくりをめざします。



### 3 自治振興交付金

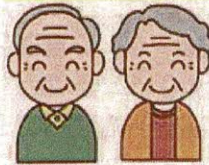
この交付金は地域が目的を持って自主的に取り組んでいただく活動支援金としてお渡します。

総額は前々年度の市民税決算額の3%以内  
(平成23年度の額 1億6,000万円)

#### ①基礎交付金・・・従来の敬老事業・防犯灯・ゴミ集積

場・消防機材補助金などを交付金化します。

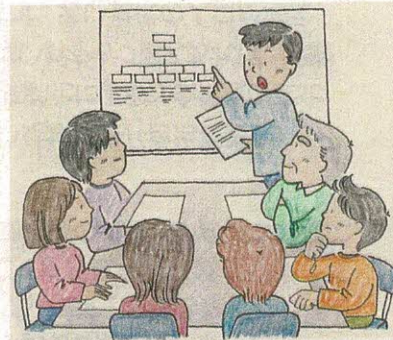
#### 敬老事業



2,600万円(平成22年度予算額と同額)

#### ②区活動交付金・・・従来から交付しています区等事務

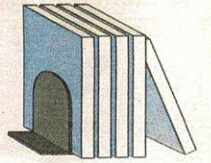
活動交付金に相当します。



5,000万円(平成22年度予算額と同額)

#### ③事務加算金・・・自治振興会の事務局経費として

活用できます。



2,200万円 (新規予算)

#### ④事業加算金・・・安全・安心や防災、人権、福祉、

環境など、地域の声を地域の力で実現するための活動に活用できます。



6,200万円 (新規予算)

これまで、各町域を単位に設置しておりました4つの支所が、概ね学区単位で開所した23の「地域市民センター」として生まれ変わり、市民の皆様の身近な場所で窓口業務などを行います。

各センターでは、地域のまちづくり支援や皆様からのご意見・ご相談などに対応させていただくことに重点をおきながら、行政サービスも提供してまいります。

自治振興会に関する問い合わせ

甲賀市 総合政策部 地域コミュニティ推進室

電話: 0748-65-0687

E-mail: koka215000@city.koka.lg.jp